平成３１年３月２０日
14:00 資料提供

各　位

歴史街道推進協議会

歴史街道推進協議会は、大阪市立大学と「日本文化体感プログラム」の連携協定を締結しました

歴史街道推進協議会（会長：松本正義関西経済連合会会長）は、公立大学法人大阪市立大学と、平成３１年３月２０日（水）に、当協議会が企画実施する「日本文化体感プログラム」の大阪市立大学への提供に関する連携協定を締結しました。当協議会にとって、大学と協定書を締結するのは初めてとなります。

訪日外客数が増加の一途をたどるにつれ、日本への留学を希望する学生も増加していますが、日本での就職を希望する者のうち、実際に就職しているのは半数程度とされています。
本プログラムの実施により、高度外国人材として活躍を期待される留学生に大学の課程で学ぶ基礎学力や専門知識等だけでなく、日本の歴史や文化、日本人の考え方や特性などを伝えることで、将来の幹部候補としてのビジネス感覚や日本人とのコミュニケーションスキルを養います。
外国人留学生だけでなく、日本人学生や教職員も対象とし、関西・大阪の歴史文化に関する興味を持ち、国際交流の際に日本らしさ(日本人の「心」と「技」)を伝えられる一助となることが期待されます。

■本協定に基づくプログラムの活用例と意義

１．留学生
　大学間交流協定に基づく短期プログラム、日帰り研修など交流行事等の一つとして実施。
　本学での受入体制を強化し、関西圏での就労や帰国後の日本文化の発信を支援します。

２．海外の大学関係者
　大学・部局間交流協定締結や表敬訪問での来学日程中に実施。
　トップ人材との相互理解に資するものとします。

３．日本人学生・教職員等
　海外との交流に興味のある一般学生や大学のグローバル化を担う教職員の研修として実施。
　国際交流の場で誇りをもって日本の歴史文化を伝えられるようにし、グローバル意識の一層の醸成を行います。

■調印者

歴史街道推進協議会　　会　長　　松本　正義

公立大学法人大阪市立大学　　理事長　　荒川　哲男

「日本文化体感プログラム」の様子

日本文化体感プログラムとは

歴史街道推進協議会が企画・提供するプログラムで、日本文化に関する講義、専門ガイドによる現地見学などで構成されています。

プログラム提供対象者は、国際社会で活躍が期待されるビジネスパーソンをはじめ、海外から日本の技術等を学びにこられている訪日研修員をはじめ、大学生（日本人学生、留学生）、高校生など多岐にわたります。

協議会では、対象者毎に内容をアレンジし、現地での体験を振り返るワークショップの実施などを加えるなど「日本文化の理解促進」のための活動を推進しています。

日本文化体感プログラム実績（直近３年間）

対象：ビジネスマン・大学生など	研修（JICA、企業）		大学、一般		参加者合計
	実施回数	参加者	実施回数	参加者	
平成 27 年度	53 回	905 名	6 回	587 名	1,492 名
平成 28 年度	52 回	839 名	5 回	411 名	1,250 名
平成 29 年度	66 回	1,151 名 (89 ヵ国)	7 回	216 名 （6 ヵ国）	1,367 名
計	171 回	2,895 名	18 回	1,214 名	4,109 名

問い合わせ先：歴史街道推進協議会　日本文化体感プログラム担当

担当：森田・稲永

〒530-0005　大阪市北区中之島２－２－２　大阪中之島ビル７階

TEL:06-6223-7745　　FAX：06-6223-7234

E-mail inenaga@rekishikaido.gr.jp

http://www.rekishikaido.gr.jp/